

# PC桁現場製作を見学

## 松江高専4年生が参加

雲南県土整備事務所仁多土木事業所と、オリエンタル白石は5月28日、奥出雲町内で現場見学会を開催。松江高専環境・建設工学科の4年生41人が参加した。

現場は、雲南県土が発

### 仁多土木 オリエンタル白石

注した国道432号郡2工区社会資本整備総合交付金(改築)大内原橋上部工事。L43・5m、W9・75mのポストテンション方式PC単純T桁橋の施工状況を見学した。

仁多土木事業所の木村達郎工務課長が「県発注工事で桁の現場製作は少



桁の製作状況について説明を受ける学生。奥出雲町三成

なくなってきた。今日は桁製作での鉄筋とシースを組み立てた段階と、型枠を組み終えたコンク

リート打設前、さらに桁の架設状況が同時に見られる貴重な機会」と説明。学生は同社の現場担当者の説明を聞きながら、施工の状況や流れを見学。工法の検討経緯やプレストレスなどについて質問していた。

松江高専の周藤将司講師は「4年生はこれからプレストレストコンクリートを学ぶので、事前にイメージや興味を持つ良い機会になった」とし、好評だった。

同社では18年度、出雲県土発注の河川工事現場で地元の小学生を招き見学会を開催。島根営業所の服部正弘所長は「土木の魅力を伝え、土木のファンを増やすことで、次世代の担い手育成に少しでもつながれば」と話していた。